

## 旧制福岡高等学校関係資料について

折田, 悦郎  
九州大学大学文書館 : 教授

<https://hdl.handle.net/2324/11874>

---

出版情報 : 貴重文物講習会. 11, 2008-08-22. 九州大学附属図書館  
バージョン :  
権利関係 :

旧制福岡高等学校関係資料について

九州大学大学文書館  
折田 悦郎

- 1 はじめに
- 2 旧制福岡高等学校
- 3 新制九州大学
- 4 九州大学教養部
- 5 展示説明

1 『日本近代教育史事典』(平凡社、昭和46年12月)

名 称	学部・大学院	設置年月日	所在地 (本部)	備 考 (編成学校等)
66九州大学	文・教育・法・経済・理・医・薬・工・農, 院(修・博)	昭和24. 5.31	福岡市	九州大学・同附属医専・福岡高・久留米工専
67九州工業大学	工, 院(修)	昭和24. 5.31	北九州市	明治工業専門学校
68佐賀大学	文理・教育・農	昭和24. 5.31	佐賀市	佐賀高・佐賀師範・佐賀青師
69長崎大学	学芸・経済・医・薬・水産, 院(医, 薬(修))	昭和24. 5.31	長崎市	長崎医大・同附属医専・長崎経専・長崎高・長崎師範・長崎青師
70熊本大学	法文・教育・理・医・薬・工, 院(医, 薬・工(修))	昭和24. 5.31	熊本市	熊本医大・同附属医専・第五高・熊本薬専・熊本工専・熊本師範・熊本青師
71大分大学	学芸・経済	昭和24. 5.31	大分市	大分経専・大分師範・大分青師
72宮崎大学	学芸・工・農	昭和24. 5.31	宮崎市	宮崎農専・宮崎師範・宮崎青師・宮崎県立工専
73鹿児島大学	法文・教育・理・医・工・農・水産, 院(医)	昭和24. 5.31	鹿児島市	第七高・鹿児島農専・鹿児島水専・鹿児島師範・鹿児島青師・鹿児島県立大(医・工)

2 九大との合併 山尾政治(第4代福岡高等学校校長)

九大と福高との合併問題に就ては、総長始め各学部長と最初から全然意見が合わなかったの  
で、私は文部省に辞表を提出したけれども受理してくれなかった。其の後文部省の専門局長室  
で、九大を代表する某学部長と議論したが、局長は私の意見を全面的に支持してくれたと言う  
一幕もあって、合併に関する福高側の希望は九分通り達せられることになり、私としては重荷  
を下した感じだった。新学制の発足に因り私は昭和二十四年六月山口大学文理学部長に転任し  
た。(中略)折に触れ時に臨んで残念に思う事は、アメリカの日本弱体化政策に基づく教育刷  
新と言うおためごかしの美名の下に押し付けられた学制改革に依って、我が国教育界に於て異  
色の伝統を誇り来たった旧制高等学校が無慙にも抹殺されたことである。今から悔やしがって  
も詮ないことながら、実に遺憾に堪えず痛恨の極みである。嗟乎惜しい哉！嗚呼懐かしい哉！  
『青陵 思い出の記』(福岡高等学校同窓会編) 1972.1

3 わたしの内なる教養部 山口宗之(名誉教授)

かつてわたしは文学部助手時代、教養部の教授は学部の助教授であり、助教授は助手に過ぎ  
ぬという某古参教授の暴言を耳にした記憶がある。かりに九大の中でそうであったにせよ、内  
外の学界はわれわれをれっきとした九大教官として遇してくれた筈であり、さればこそわれわ

## 関係年表

### 福岡高等学校時代

大正10年(1921年)

11. 9 福岡高等学校創設〔勅432〕。

大正11年(1922年)

4. 合格者発表(1組定員40名。文科3組、理科2組、計200名)。第1回入学式。
9. 開寮、約100名入寮。
10. 第1回対佐高野球戦。

大正13年(1924年)

6. 28 福岡高等学校社会科学研究会結成。
9. 26 法文学部創設〔勅224〕。大14. 4. 21授業開始。

大正14年(1925年)

3. 福岡高等学校第1回生卒業、同窓会発足。
4. 20 法文学部第1回入学式を挙行(本学初の女子学生2名入学)。

昭和2年(1927年)

5. 第1回乱舞会(於志賀島)。

昭和6年(1931年)

11. 学而寮命名式。

昭和7年(1932年)

- - 九州帝国大学における左翼学生運動、本年をもってほぼ終息。

昭和12年(1937年)

7. 7 日中戦争始まる。

昭和14年(1939年)

5. 23 久留米高等工業学校創設〔勅336〕(4. 1適用)。

昭和15年(1940年)

11. 福岡高等学校紀元二千六百年記念式典。校友会解散、報国団結成。

昭和16年(1941年)

12. 8 太平洋戦争始まる。

昭和17年(1942年)

4. 福岡高等学校、本年度から理科3組となる(21回生、22回生)。
9. 福岡高等学校、繰上げ卒業(19回生、6ヶ月短縮。21回生まで)。

昭和18年(1943年)

1. 福岡高等学校、修業年限2年に短縮(22回生、昭和20年3月卒業)。
10. 2 在学徴集延期臨時特例公布〔勅755〕(学生生徒の徴兵猶予停止)。10. 12閣議、「教育ニ関スル戦時非常措置方策」を決定(理工科系統および教員養成諸学校学生の他は徴兵猶予を停止。1年に4ヶ月の動員態勢)。
12. 学徒出陣。
12. 24 徴兵適齢臨時特例公布〔勅939〕(適齢を1年引き下げ満19歳とする)。

昭和19年(1944年)

4. 福岡高等学校、文科1組、理科5組(23回生)となる。
4. 24 久留米高等工業学校、久留米工業専門学校と改称〔文省28〕(4. 1適用。昭24. 5. 31九州大学久留米工業専門学校となる〔法150〕)。

昭和20年(1945年)

4. 福岡高等学校、文科1組、理科6組(24回生)となる。但し、中学の学徒動員先に引続き動員(6月、24回生入学式。直ちに高等学校動員先に動員)。
8. 15 太平洋戦争終結。
8. 28 閣議、陸海軍諸学校出身者・在学者を無試験で文部省所管学校へ転入校させることを決定。
9. 福岡高等学校、外地からの編入等により、23回生、文科2組、以降24回生、文科3組に増員。
10. 22 GHQ、「日本教育制度に対する管理政策」を指令。10. 30教育関係者の追放・教壇復帰・調査機構の設置等を指令。
12. 27 評議会、理学部の久留米移転案を了承。

昭和21年(1946年)

4. 福岡高等学校、修業年限3年に復す。
11. 3 日本国憲法公布、医学部大講堂で記念行事を挙行。

昭和22年(1947年)

3. 31 教育基本法公布〔法25〕。学校教育法公布〔法26〕(6. 3. 3. 4制を規定。高等学校令、大学令、学位令等廃止。4. 1施行)。
7. 8 大学基準協会設立、大学基準を決定(全大学に一般教育科目必置の原則決まる)。
9. 30 九州帝国大学、九州大学と改称〔政204〕(10. 1施行。帝国大学令等改正、帝国大学を国立総合大学と改称)。

昭和23年(1948年)

2. 23 大学設置基準を答申(新制大学設置認可の基準決定)。
2. 10 文部省、高等・専門学校志望者に対する進学適性検査を全国一斉に実施(昭和24~29年度まで、新制大学進学志望者に一斉実施)。
5. 11 開学記念式典、初の大学祭が行われる。
6. 22 文部省、1府県に1大学の設置等、国立大学設置の11原則を発表。

## 昭和24年(1949年)

- 29 評議会, 教養部長は学部から, 分校主事は当該分校から選出することを決定。
- 福岡高等学校、27回生、在学1年で修了。新制大学第1回を受験(6月)。
- 1 法学部, 経済学部, 文学部創設〔文省10〕(法文学部廃止)。

## 新制九州大学

- 31 新制九州大学創設〔法150〕(国立学校設置法公布。教育学部が新設され, 文・育・法・経・理・医・工・農の8学部を設置。従前の九州大学, 九州大学附属医学専門部, 福岡高等学校, 久留米工業専門学校を包括。附置研究所として生産科学研究所, 産業労働研究所が新設され, 温泉治療学研究所, 流体工学研究所, 弾性工学研究所を附置。学部附属の研究施設として医学部に附属病院および看護婦養成施設, 農学部附属農場, 附属演習林および附属水産実験所を設置。別に附属図書館を置く。同時に国立総合大学令, 国立総合大学官制, 国立総合大学及びその学部に関する件, 九州大学講座令, 臨時教員養成所官制, 官立専門学校官制, 国立総合大学及び官立医科大学に臨時医学専門部を設置するの件, 温泉治療学研究所官制, 流体工学研究所官制, 弾性工学研究所官制, 木材研究所官制等廃止)。
- 8 新制九州大学初の入学試験を実施(～6.9)。9.10入学式。
- 1 一般教養課程実施のため第一分校(福岡市大坪町), 第二分校(久留米市小森野町), 第三分校(同国分町)を設置。
- 2 教養部審議会規則, 教養部教授会運営内規, 教養部の人事に関する内規を制定。教養部審議会を設置。
- 24 九州大学久留米工業専門学校のいわゆる赤色教授に対して辞職勧告(以後多くの大学で同趣旨の勧告がなされる)。
- 8 第三分校学生自治会, 分校統合移転の決議文を総長に提出。

## 昭和25年(1950年)

- 福岡高等学校、第26回生(最後の卒業生)卒業。
- 31 九州大学福岡高等学校廃止〔法51〕。
- 25 朝鮮戦争始まる。
- 13 国立大学協会設立。同協会, 旧制高校卒業生(白線浪人)ら約9000人を昭和26年度より新制大学に編入と決定。
- 24 GHQ, 新聞協会代表に共産党員と同調者の追放を勧告(レッドパージ始まる)。

## 昭和26年(1951年)

- 旧制福岡高等学校第1回青陵会総会(於亭々舎。11月、『青陵会会報』第1号発行)。
- 1 教育学部, 授業開始。
- 31 九州大学久留米工業専門学校廃止〔法84〕(4.1施行)。第三分校(久留米市国分町)を廃止。
- 8 対日平和条約, 日米安全保障条約調印(昭27.4.28発効)。
- 1 分校学生自治会, 講和・安保条約批准反対スト。11.8評議会, 11人の処分を決定。

## 昭和27年(1952年)

- 3 昭和27年度入学試験(～3.4)。従来の文科・理科別にかわる最初の学部別入学試験。

## 昭和28年(1953年)

- 26 新制九州大学大学院設置〔法25〕(4.1施行)。
- 28 学士試験合格証書授与式(旧制最後)および卒業証書授与式(新制第1回)を挙行。
- 14 評議会, 医・理学部を除く学部生の教養課程短縮について承認(昭和28年度入学生から教養課程が1年半となる)。

## 昭和30年(1955年)

- 5 久留米市, 「九州大学第二分校福岡移転についての要望書」を採択, 移転反対を決議。
- 1 医学部に医学進学課程を設置。
- 12 山田総長・山下久留米市長, 「九州大学第二分校福岡統合に関する九州大学並に久留米市との覚書」に署名, 分校統合問題解決。
- 31 九州大学分校を設置(第一分校および第二分校廃止)。
- 26 教養部, 初の学園祭を開催(～5.27)。
- 教養部1号館第1期工事2344㎡竣工。
- 3 評議会, 工学部の学科別入学試験を承認(翌昭和32年度より実施)。
- 22 大学設置基準公布〔文省28〕(講座制<研究教育組織>と学科目制<教育組織>を区別, 大学予算編成上の基礎区分とする)。
- 旧制福岡高等学校同窓会青陵会名簿初発行。

## 昭和33年(1958年)

- 教養部学生寄宿舎, 教養部内から福岡市田島(1515坪)に移転完了。
- 1 評議会, 理学部の学科別入学試験を承認(翌昭和34年度より実施)。
- 旧第二分校・生産科学研究所久留米分室建物6565坪および敷地2万8325坪を久留米工業短期大学へ所管換。
- 15 第1回九州大学体育祭を開催(～11.16)。

## 昭和34年(1959年)

- 11 福岡県下の大学学生自治会, 教養部において福岡県学連を結成。
- 30 福岡市内4大学学生1200人, 安保改定阻止抗議集会を開催。
- 12 旧専門学校令による旧久留米工業専門学校の在学者または卒業者に係る学習および身体の状態を記録した書類の保存および証明事務は, 昭和34年8月1日以降本学から久留米工業短

期大学に引き継ぐこととなる〔文告94〕。

昭和35年(1960年)

5. 20 未明, 衆議院本会議は新安保条約・協定を強行採決。6. 19同条約・協定自然承認。

昭和36年(1961年)

5. 11 九州大学創立50周年記念式典を挙げる。

昭和37年(1962年)

3. 29 旧制九州大学廃止〔法36〕(4. 1施行)。

7. 28 第1回国立七大学総合体育大会(七大戦)開催(北大主催, ~8. 4)。

昭和38年(1963年)

2. 27 旧制福高以来の外人教師官舎を西新官舎と改称, 大学本部に移管。

3. 31 九州大学分校を廃止。

3. - 教養部3号館2638m<sup>2</sup>竣工。

4. 1 教養部設置〔文省11〕。教養部長選考基準施行。

4. 6 『九大教養部報』を創刊。

昭和39年(1964年)

6. 9 教養部, 「教養学部構想」を評議会に提出。

昭和42年(1967年)

11. 第1回九州寮歌祭(旧制福岡高等学校担当)、以後毎年参加。

昭和43年(1968年)

3. 旧制福岡高等学校同窓会青陵会、「青陵の泉」完成(6月2日除幕式)。

昭和47年(1972年)

5. 旧制福岡高等学校同窓会青陵会、50周年記念祭(11月、記念誌『青陵、思い出の記』発行)。

平成6年(1994年)

1. 旧制福高関係資料を九大大学史料室に移管。

3. 23 4月1日から附属図書館教養部分館を, 附属図書館六本松分館と改称〔文省2〕。

4. 1 比較社会文化研究科(博士課程)及び数理学研究科(博士課程)を設置〔政86〕。  
教養部を廃止〔文省8〕。

平成12年(2000年)

3. 言語文化部廃止。

4. 研究科を再編し, 学府・研究院制度を創設。大学院言語文化研究院設置。

平成14年(2002年)

10. 旧制福岡高等学校80周年記念祭(「旧制福岡高等学校跡」記念標柱建立。記念文集『人生旅路遠けれど』発行)。

平成15年(2003年)

3. 大学教育研究センター廃止。

4. 高等教育総合開発研究センター設置。

7. 16 国立大学法人法成立〔法112〕。

平成18年(2006年)

6. 高等教育総合開発研究センターを高等教育開発推進センターに改組。

平成19年(2007年)

10. 旧制福岡高等学校85周年記念祭。